

第2回新潟市ふれあい健康センター指定管理者申請者評価会議

議事録

日 時：平成30年10月22日（月）午後1時30分から

会 場：市役所分館1-601会議室

委 員：篠田 邦彦（新潟大学名誉教授）

椎谷 照美（特定非営利活動法人ヒューマン・エイド22代表）

本間 敏（日本公認会計士協会東京会新潟県会）

松原 明子（新潟市消費者協会新潟支部理事）

事務局：廃棄物政策課 鈴木課長，石崎課長補佐，柏木管理係長，波多野副主査

傍聴者：12名

（司 会）

ただいまより、第2回新潟市ふれあい健康センター指定管理者申請者評価会議を開催いたします。本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。

私は、司会を務めさせていただきます、廃棄物政策課課長補佐の石崎でございます。

会議に先立ちまして、本会議の公開、非公開について説明いたします。本日はプレゼンテーション及び質疑応答までを公開とし、その後は非公開とさせていただきます。申請者と傍聴者の皆様は、最後の団体が終了しましたら退席していただきますので、ご了承お願いいたします。

本会議は、おおむね午後5時までを予定しております。スムーズな進行にご協力をお願いいたします。

本日の流れについて説明させていただきます。今回の申請者は3団体でした。プレゼンテーションを20分間行っていただき、その後、評価会議委員と質疑応答を20分程度で行っていただきます。3団体目が終わりましたら、申請者と傍聴者の皆様には退席をお願いいたします。その後、委員の皆様から採点結果を回収し、集計の後、評価会議委員の方に集計結果をお渡しして、評価のポイントや評価の理由についてお聞き取りさせていただきます。市では、本日の評価結果を参考にしまして、最終的に指定管理者を選定いたします。

これから申請者によるプレゼンテーションに移ります。1団体目、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社です。プレゼンテーションの時間は20分です。15分経過しましたらチャイムを1回鳴らします。20分に達したところでチャイムを2回鳴らしますので終了してください。それでは、お願いいたします。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

～プレゼンテーション～

(司 会)

ありがとうございました。それでは、質疑応答に入ります。時間に限りがございますので、質問、回答とも簡潔におおむね1分くらいでお願いいたします。委員の皆様いかがでしょうか。

(篠田委員)

御社はエンターテインメント系と食事のことで非常に展開していらっしゃる会社だと認識しておりますけれども、プレゼンテーションにありましたように、健康づくりに寄与したい、そのときに「運動・栄養・休養」の運動と休養と食事を兼ね備えた施設に仕立て上げたいと作り上げていらっしゃるけれども、今、新潟市で進めている健康づくりの食育のほうの一番眼目にしているものをお調べになってはいますか。食育で一番大切に今、運動を展開しているものを。ちょうど食事を提供されるので、そこがけっこうメインになりそうなところなので、特に西区にあるということは、西区の人たちがたくさんお集まりになると。西区の人たちの今の健康状態がどんなであるかと。その人たちの食事を提供するわけですから、健康状態で今、まずい、改善したいと市が考えているようなところ、そして市が一番推しているところを把握して展開していただくと、健康施策に則ったこれからの事業展開になるのではないかと思ってお聞きしたのですが。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

申し訳ありません。新潟市のこちらの施設に関しましては、私ども学校給食等も受託させていただいているのですが、実際、学校給食の概念とは違った見方をしております、食育のところから外れていて。

(篠田委員)

学校教育と関係ないですよ、食育は。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

学校給食の私どもやらせていただいている部分に関して、企画書の作り方的なところが、若干違っております、当然、食育の部分は重視して考えてはいるのですが、今回のアクアパークの件に関しましては、どちらかというところとリーズナブルな部分と、メニューの豊富さというところを考えております。

(篠田委員)

メニューがたくさんというのはいいのですが、一番気をつけてもらいたいことを食育のほうで市民に訴えかけて、全市的な運動にしているのです。それをご存じないとまずい

かなと。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

すみません、そこは確認しておりませんでした。申し訳ありませんでした。

(篠田委員)

ぜひこれからもし事業展開されるのであれば、それに乗っかっていっていただかないと。

それともう一つ、人員配置の中で、プール監視4名、この人たちはどういう資格をお持ちですか。健康教室の人たちもどういう資格をお持ちの方を配置しますか。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

健康教室に関しては、プールの監視員の部分から説明を。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

救命救急士の有資格者を主に雇用する予定でおります。

(篠田委員)

すごい人を呼ぶのですね、いますか。大丈夫ですか。救命救急士を…できますかね。できるのであればいいのですが。では、健康教室のほうは。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

健康教室のほうにおきましては、弊社のグループにカルチャーというものをグループ企業でしてありまして、それは何をしているかといいますと。

(篠田委員)

いや、どういう有資格者を配置するか。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

有資格者はヨガのインストラクターの資格がある講師だとかを、主にヨガを中心に実施したいと思っておりますので。

(篠田委員)

ヨガははやりなのですからけれども。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

そうですね。

(篠田委員)

数日で取れるような資格ではだめです。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

はい、その資格に関しましては、弊社のグループ会社のほうでおりますので、そちらの者を配置したいと思っております。

(篠田委員)

有資格者といって、きちんと信頼できるものというのは、継続教育がしっかりとしていて、任期が決まっていて、資格試験もきちんとあるという者を採用してほしいと思います。健康づくりをきちんとできる人です。これは先ほど言いましたように、新潟市の健康づくりの方針というのは決まっていますから、それに則ったことができる人です。よろしくをお願いします。

(椎谷委員)

お子さんですとか、ファミリーの方が利用すると思うのです。そこでやはり安心安全というのがとても大事だと思うのです。今ほど言われたように、人員配置の面で質問させていただきたいのですけれども、プールの監視員の方が4名ということで、繁忙期のときにはプラス10名というようなお話があったのですけれども、この10名の方の配置というのは、やはり夏休みということもありますので、お子さんもよくいらっしゃると思うのですけれども、プールの監視のほうも手厚くされるということになりますでしょうか。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

そうですね。通常よりは、繁忙期は1名増やす方向で検討しております。

(椎谷委員)

プール監視員5名ということですか。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

そうですね。通常だと3名を予定しております、繁忙期のときは1名プラスの雇用を考えております。

(椎谷委員)

一つプールがなくなりましたよね。ですので、すごく多くなると思いますので、臨機応変に安全安心というところをお願いしたいと思います。

(本間委員)

提案書の37ページの料金の設定と考え方のところで、現行金額での運営を検討されているということなのですからけれども、過去数年、赤字が続いていると思うのですけれども、現行金額据え置きで収支を償える見通しというか、その根拠を教えてくださいませんか。

42ページの次から5年間の収支計画が載っているのですけれども、これは毎年、同じ金額が出ているのですけれども、例えば、人件費などは昇給など加味されていますでしょうか。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

料金設定に関しましては、現状の金額でというところで、まず一番最初に重視したのは、地域の方々、利用する方々のところで、やはり急激な値上げですとか、そういったところで市民の方にどちらかという負担をかけるよりは、大変申し訳ないのですけれども、提案と

しては我々のほうは、指定管理料の値上げということで対応をさせていただきました。

もう一方では、人件費に関しましては、当然、人事考課に基づく昇給アップですとか、そういったところの面談を核とし、3月に個別で個人面談をしながら昇給は決定しておりますので、原理原則昇給があるというところの考え方のもと、指定管理料などは一定で、いくつかの企業努力。これは水光熱の削減ですとか、消耗品等の削減を考慮しながら、極力、その辺の負担を新潟市には料金の設定をさせていただきました。ただ、どうしても現状赤字というところがありまして、我々もビジネスとしてやるという部分に関しましては、指定管理料の値上げという判断をせざるを得なく、そういった提案をさせてもらったということがございます。

(本間委員)

そうしますと、5か年の収支計画で人件費はずっと一緒なのですけども、これは。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

当然、人件費の上がる場所もあれば、我々の努力でシフトのインする人数を削減したりですとか、労働時間を縮減したり、そういったところの努力はしていきたいと考えております。

(本間委員)

指定管理料の値上げということで、特に入館者数などは、それほど従来と大きな変化はない見込みということですか。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

はい。

(本間委員)

分かりました。

(松原委員)

私が一番思ったのは、人員の配置のところ、衛生が一番大切だと思うのです。いろいろなことの衛生が。ところが人数が少ないのではないかと最初、一番印象が残ったのですけれども、いかがでしょうか。清掃員の方の話なのですが。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

我々既存業者ではなくて、外から見た中でのシフトの組み込みになりますので、もしかしたらそういった部分があるのかもしれませんが。

(松原委員)

何となく見たとき、すぐそう思ったのです。見せていただいて大丈夫かなというところが。どのように割り振られて、そのときにならないとあれでしょうけれども、この人数の配分を

見たときにそう思いましたので。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

積算のところでいきますと、当然、我々のベースとなる積算根拠がありながら、そういったところの人数の決定をさせてもらったというところで、もしかしたら既存業者の方よりも極端に低いところが発生している可能性は実際ありますので、そういった部分に関しましては、当然、必要なものは人員を配置しますし、必要な消耗備品があれば、それは指定管理料の中で対応はしていきたいと思います。

(篠田委員)

これは急に来た話なので難しいと思うのですけれども、来年から消費税が上がってしまいますよね。どのようにするのですか。予算書ができてしまっていますけれども。それが一つと、施設の性質上、リサイクルということ、食堂が関係してくるので、ごみがたくさん出ると思うのです。そういうことも関連して、リサイクルの具体的な対策や考え方というものを教えていただければと思います。消費税 10 パーセントに上がってしまうのですけれども、その辺はどのように、今、予算を出しておられますけれども、市との話し合いをするとか何とか、その辺は話し合っていないのですか。指示はなかったのですか。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

新潟市と協議のうえ、その辺りも協議させていただきつつ、今、入館料の金額をもしかしたら値上げをしなければいけない部分も出てきてしまいますし、ただ、来館される方々にはご迷惑をおかけしたくないというのが一番、理想ではありますので、その部分をなるべく急激には値上げをしないようにしつつ、新潟市と協議のうえ、消費税の値上げの部分に関しましては協議をさせていただきたいと思っております。

(篠田委員)

入館料というか、食堂関係に全部かかわってきますものね。そうすると、外部雇用してきたインストラクターへの支払いなども全部関係してくるので、全部はじき直しになるので、よろしくをお願いします。リサイクルもです。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

リサイクルに関しまして、我々も本社のほうにいくつか提携企業がありまして、実は我々もそういったところに関しては専門ではございません。ですから、いくつか業者との連携の中で協議をして、現地視察等をしながら対応はしていきたいと思っています。

(篠田委員)

でも、食堂関係をやっている人なのでしょう。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

食堂は、例えば、学校給食であれば、そこで出た試料をいくつか乾燥させて、工場に運んで、肥料として学校に還元したりということはやっていますけれども、こういった施設で何ができるのかということも含めて、本社のほうで協議はしていきたいと思います。

(篠田委員)

結局、そういうものが予算書にもものすごく反映すると思うのです。食器や箸など、使い捨てにするのか、洗ってやるのか。そういうところがリサイクルになってくると思うのです。これはしっかりと考えてください。

(司 会)

ほかに委員の皆様、ご質問は。

(本間委員)

同じく先ほどの収支計画書のところで、事業者管理経費 3,000 万円あがっているのですが、これの計算根拠を教えてください。

(シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社)

これにつきましては、今の既存の業者よりもはるかに値上げをさせていただいておりますが、この内訳としましては、来場されるお客様に対しても、接客にしろ、運営をもう少し重視したいということで、本社のバックアップだとか、営業所のバックアップ体制を十分取らせていただきたいと思います。この管理経費のほうを上回ってしまったのです。

(司 会)

ほかにございませんでしょうか。椎谷委員、松原委員、追加のご質問はございませんか。

(椎谷委員)

あとどのくらい時間があるのですか。

(司 会)

あと 2 分ほどあります。

(椎谷委員)

では、お願いします。プールを利用する一つのファミリーの話になるのですが、赤ちゃんを連れてお母さんですとか、そういった兄弟が例えばプールに入っていて、赤ちゃんがお母さんと一緒に過ごせる部屋という託児ルームが一つあったのですが、まず狭いということと、過ごしやすい部屋なのかどうなのかというところ。衛生面にしてもそうです。ぬいぐるみがあったり、写真を見ても少ないですので、その辺の配慮というものがやはり大事ですし、今、ロコミというのがとても大事になってきていますので、あそこに行くとき休めるし、遊べるし、とても安心して衛生面もしっかりしているのだよということ。そういうところが広がる要素になってくると思いますので、その辺も考えていただければいいなと思い

ます。

(司 会)

では、お時間になりましたので、質疑は終了とさせていただきます。

申請者の方、本日はこれで終了です。お疲れさまでした。結果につきましては、決まり次第、ご連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。

次の団体の準備を行いますので、10分ほど休憩いたします。2時10分から再開いたします。よろしく願いします。

(休 憩)

(司 会)

再開いたします。

2団体目、株式会社関越サービスです。

プレゼンテーションの時間は20分です。15分経過しましたらチャイムを1回鳴らします。20分に達したところでチャイムを2回鳴らしますので終了してください。

それでは、お願いいたします。

(株式会社関越サービス)

～プレゼンテーション～

(司 会)

ありがとうございました。

質疑応答に入ります。質問、回答とも簡潔に、おおむね1分以内でお願いいたします。委員の皆様、いかがでしょうか。

(椎谷委員)

ありがとうございました。いただいた資料の3ページの(4)のところに、メインターゲットが30代から50代の女性と書かれているのですが、この30代から50代に絞るとするのは、今までの利用者がこの年代の女性が多かったということでしょうか。

(株式会社関越サービス)

30代から50代の女性を主に集客することで、ほぼ老若男女の幅広い層の方が、30代から50代の女性と一緒に来客していただけるだろうという予測になっております。高齢の男性だけが集まる施設というのは、高齢の男性しか集まらないようなのです。逆に女性が集まっている施設には、男性も集まってくる。そういったことから30代から50代の女性に一番引かかるような施策を展開していきたいと考えております。

(椎谷委員)

内容を見せていただきますと、やはり女性ですとか、カフェにするとか、いろいろところで女性の視点がすごく入っているのですけれども、全体的に見ますと利用する年齢層というのものも、男女比も、皆さんにとって過ごしやすいというところが大事なのかと思ったのです。それで例えば、とてもおしゃれな感じの本棚があってというところも、多分お子さんですとか、そういった方々も喜ぶかと思うのですけれども、そういったところにスタッフの方はいらっしゃるのでしょうか。例えば、興味のあるものを落としてしまうとか、ばらばらになってしまったりとか、そういったことを利用者のほうにやってください、片づけてくださいなのか、それともこの人員配置の中でもしっかりと監視する方がいらっしゃるのかどうなのかというところはいかがでしょうか。

(株式会社関越サービス)

その場所に常駐はしませんけれども、常時巡回はするような計画をしております。

(椎谷委員)

分かりました。また、後ほど。

(本間委員)

大きく3点、お尋ねしたいと思います。

1点目が、繁忙期などの無理ない雇用条件とか、シフト管理とか、その辺、どうお考えになってられるかということが1点。

もう一点が、この厚いプレゼンテーション資料の136ページのところで、会員料金の見直しの検討というところで下のほうに表があるのですけれども、「サタデーパス中学生」から「こどもの日無料等」のところまで新料金案のところが空欄になっているのですけれども、この辺のご説明をいただきたいのと、最後に収支計画書で疑問に思うのが、人件費に比べて法定福利費の金額が随分少ないのではないかという気はするのですけれども、これで大丈夫でしょうかということです。

あとは光熱水費が過去の実績に比べて、だいぶ高めに見込まれているようなのですけれども、その根拠と使用料、賃借料の主な内訳。売店売り上げと売店仕入れのかなり原価率が高いのですけれども、これはこんなものなのでしょうか。

(株式会社関越サービス)

一番最初にご質問いただきました、繁忙期のシフト管理からお答えさせていただきます。

シフト管理については、提案書の19ページ、20ページにローテーション表を入れさせていただいております。繁忙期については、当然、ほかの季節よりも3倍から4倍のお客様がいらっしゃるということになっておりますので、繁忙期については危険がないように安全性

を重視いたしまして、プールの監視スタッフについても、通常期で3名のところ、最大6名配置するようになっているほか、フロントについても通常2名対応のところ3名、そしてさらにマネージャーチーフがそれにサポートで入るといったような体制にしております。また、レストランスタッフについても、繁忙期については通常期よりもシフトを厚くして対応するように考えております。

次に、135 ページのところのサタデーパス、こどもの日無料というものがなくなっているのではないのかというご指摘なのですけれども、これについてはサタデーパスというのは、当然ですけれども土曜日しか使えない割引になります。それを持ってこなければ使えないということで、今現在、私どもで管理運営させていただいております秋葉区の花の湯館では、土日は家族の日ということで、そこで土曜日、日曜日で割引を市のほうに申請いたしまして、それで許可を受けて、土曜日、日曜日に家族に来ていただきたいということでやっております。同じような形でサタデーパスに限定することなく、土曜日だけでなく、土日に家族層をぜひ集客したいということで、今度はサタデーパスに替わって家族割りというような提案をさせていただきたいと考えて、提案書のほうに記載させていただいております。

こどもの日無料なのですけれども、これもこどもの日、毎月、イベントカレンダーを作るわけですが、そのイベントカレンダーに合わせて、来月はこういった集客のイベントをしたいということを市のほうに申請して、それによって割引をしていきたいと。料金体系については、できるだけシンプルに分かりやすくしたほうがいいのではないのかという考えで細かい割引を外した提案とさせていただきました。

(本間委員)

同じ表のところでは従来は見学者の料金を取って調整していたようなのですけれども、これについては。

(株式会社関越サービス)

見学者というものがすごく分かりにくいのではないのかと。今度は、大広間の2階のロビーのところに、そこにいだけでも快適に過ごせるような提案をさせていただいておりますので、そこを使用するという点についても、料金を頂いたほうがいいのではないかと考えております。今までは子供をプールに連れてきて、お母さんはその見学者として2階のガラスから下のプールが見えるところで待っているということだったと思うのですけれども、むしろお母さんが積極的に子供を連れてきて、自分がよもぎ蒸しをしたり、一緒にプールに入ったり、お風呂に入ったりするような楽しみを提案していきたいと考えております。

法定福利費のところですが、こちらは足りないのではないのかというご指摘なのですが、一応、私どもの総務のほうで法定福利費については、法定どおりに計算して、必要な額

を算出しております。

光熱水費なのですけれども、あえて年間2パーセントから3パーセント上がっていく。利用料でも上げておりますし、そのほかに基本料金として年間2パーセントから3パーセント上げる計算にしております。といいますのも、今現在、電気料金、水道料金、ガス料金にしても、今、既存の施設のほうで毎年、上がっておりますので、やはりこれから原油高も今、言われていますが、上がることを前提に収支計画を立てておいたほうが確実だろうということで、あえて高めに、絶対大丈夫な水準で作っております。

使用料、賃借料ですけれども、使用料のところは、主にはコンピュータシステムです。今現在、バーコードで料金の精算をするシステムになっているということで、それが今現在のシステムは、来年、4月以降は使えないということで、仕様書の中に入っておりますので、それが毎年、300万円を見込むような、トータルで1,500万円以上必要になるということで、それが一番大きいものになっております。

売店売り上げ、売店仕入れなのですけれども、売店売り上げについては、私どもは今現在、いくら売店の売り上げがあるかは、公表はできないということで知らされておりません。あくまでこれは私どもの見込みで売店売り上げはこれくらいだったら売り上げが立つだろうという見込みで作っております。売店の仕入れについては、今現在、花の湯館、あるいはさぎの湯でやっている仕入れ率が大体、85パーセントです。それに合わせて85パーセントで仕入れ率を見ております。だから、そこではあまり利益が取れるようなところではないと。ただ、お客さんにはサービスとしては、必ず必要なものだと考えております。

(篠田委員)

抽象的な話になって申し訳ないのですけれども、イベントをかなりたくさん盛り込んでくださるというようなご計画なのですが、もちろんそういうときには人員配置を増やすとされると思うのですけれども、その一方で、スタッフとの対話をどんどん活性化してきて。

(株式会社関越サービス)

スタッフとお客様とのですね。

(篠田委員)

本当にそのようにできるのでしょうか。

(株式会社関越サービス)

それは今現在、花の湯館のほうでも、先ほど、入館者数が増えていっていますというグラフを見ていただきましたが、花の湯館は何が一番いいかということ、お客様がおっしゃっていただくのは、ここはアットホームだよねということをよくおっしゃっていただきます。それはどういうことかということ、フロントのスタッフとの顔なじみになって、フロントのスタッ

フとひと言、ふた言、話すことが楽しみでいらっしゃるというお客さんは驚くほど多いということを実感しております。だから例えば、ずっと 20 分、30 分も同じお客様とお話するというのではなくて、今度、こんなイベントをするのだと。また、どのようにしてやるのかというようなお客様からの声に対して、日常会話としてお返しすると。そういう普段の接触というか、会話というものが、お客様にとってすごく大事でそれが顧客満足度の向上につながっているのだなということを実感していることから、イベントとお客様とのそういう接触ということを書かせていただきました。

(篠田委員)

そうなるとターゲットにしていらっしゃる女性の何十代という、あの方々はむしろお金のほうにシビアだと思うのです。そうすると、消費税も上がるしという時代に、またこれが値上げとなると、当初は逆に下がってしまうのではないかと。そうするとコスパがよくないと、またV字回復をして、さらに上に上がるというのは難しいと思うのですが、その辺、どのようにお考えですか。当初の落ち込みというのは、やはり考えていらっしゃいますか。当初、落ち込む可能性があるということは、当然考えていますか。

(株式会社関越サービス)

先生のおっしゃるように、例えば、今と同じ形で引き継いで料金を値上げしますと言ったら、それはがくっと入館者数が落ちると思います。私どもが提案しておりますのが、まず改装します、改装しましょうということを、花の湯館でもそうだったのですけれども、4月1週間とか、10日とかお休みをいただいて、その間に改装させていただきたいと思います。そして、リニューアルオープンということで、料金も値上げになりますけれども、ただ、料金を値上げした分、今までのアクアパークにない新しい楽しみを必ずお客様に提供できるようにしたいということが、先ほど、プレゼンの中でもご紹介させていただきました1階部分の入口からも、今までと全然違うよねと言っていただけのようなしつらえと、2階に上がったら2階に上がったで、今まではテーブルとイスがただ置いてあるだけのところが、公園みたいなしつらえのクッションが置いてあったり、人工のツリーが置いてあったり、本棚があったりとか、それはその部分で十分に付加価値を盛り込んだうえでの値上げというように提案させていただきたいと思っております。

(篠田委員)

そこで、もう一つ問題になるのは、今までのプレゼンでずっとご回答も聞いていると、肝心のプールのほうでの安全管理やそれ以外のただイベントのほうに行っているときはいいのですが、健康づくりということを考えると、提案されているのはベビーマッサージとか、ヨガくらいしかないのです。その辺のことがもう少し自主事業というものがないのかというこ

とと、これを担当される方、プールの監視の方たちというのは、どのような訓練を受けた方が担当されるのか、有資格者なのかどうかということはいかがでしょうか。

(株式会社関越サービス)

まずプールの安全管理のところについては、もちろん一番大事なところですので、安全なくしてはお客様がいくら増えても、それは意味がないと考えておりますので、プールの安全管理については、十分な教育訓練を行ったうえで、監視体制を作っていきたいと考えております。今、なさっている教育訓練以上にやっていきたいと考えております。

(篠田委員)

ベビーマッサージやヨガのほうはどうですか。

(株式会社関越サービス)

それに対しては、健康に関する自主事業ということで、大丈夫ですか。

(株式会社関越サービス)

ベビーマッサージの講師についてでしょうか。

(篠田委員)

そういうものを担当される方は有資格者なのでしょうか。どういう訓練を受けているか。

(株式会社関越サービス)

もちろんそうです。提案書にも載せておりますが、74 ページをご覧くださいませでしょうか。ベビーマッサージに関しては、西区の〇〇(講師名)さんというベビーマッサージの先生にもお話し済みでして、来年、アクアパークが、私たちがさせていただくことになったときには、ぜひ〇〇先生と一緒に。

(篠田委員)

その先生はどういう資格をお持ちですか。

(株式会社関越サービス)

〇〇先生は、ベビー・キッズ産後ママヨガインストラクターであったりとか、女性ホルモンバランスプランナーまたはフリーアナウンサーとしてもご活躍されていまして、いろいろなところで新潟市のカフェなどでも、ベビーマッサージとランチのセットとして、いろいろなところで人気の先生です。

(篠田委員)

それはどこで出している資格ですか。

(株式会社関越サービス)

一応、先生からお伺いしているのは、ベビーマッサージのインストラクターということであれば、ピーター・ウォーカー公認というところで聞いております。実際の保育園の教員で

いらっしゃいますので。

(篠田委員)

ベビーマッサージはそれとは別ですよ。

(株式会社関越サービス)

はい。

(篠田委員)

要は、安全対策ということを考えてときに、1回や2回の講習で取れるようなものと安心ができない。ベビーマッサージは少し問題になった別のものがありましたよね、事件が。あのようになってはいけないわけです。ですからそういう意味で、ヨガのほうもどういうところで取られた資格なのか、どういう研修をされ続けているのかということは、かなりそれこそコスパとの関係もありますし、それ以降の集客の問題にもかかわってくることなので、ぜひその辺は確実に。

(株式会社関越サービス)

そうですね。先生ともご相談させていただきながら、安全に実施できるように努めてまいりたいと思います。

(篠田委員)

プールのほうだと、例えば、日本赤十字社の水上安全法というものが、プールのバージョンと海のバージョンがあるのですけれども、プールバージョンなどを確実に取っている人を複数名配置すると。常に配置するというような形が取れば一番望ましいとは思いますが。難しいと思いますけれども。

(株式会社関越サービス)

はい、ありがとうございます。

(篠田委員)

もう一つ、それだけ人を集めるとなると、ごみもたくさん出ますよね。それとそれだけ人が集まってくるので、施設の性質上、リサイクルということをどのように利用者の方々と共有して、改善の方向に持っていけるか。何か具体的なことを考えていらっしゃいますか。

(株式会社関越サービス)

弊社の管理しております秋葉区の里山ビジターセンターのほうでは、センター内で使用された飲み終わったペットボトルを集めまして、クリスマスにペットボトルツリーとして、昨年も飾っております。一応、趣旨としては、ごみのリサイクル、再生利用をこのように楽しめるよということをお子たちに伝えながら、ペットボトルに子供たちにクリスマスのメッセージを書いてもらったりして、子供たちが楽しみながら再生資源の再利用について考える機

会になるように、毎年、里山ビジターセンターのほうでは企画をしております。アクアパークのほうでも、館内で飲み終わったペットボトルを使いまして、同じような形で再生資源の再利用ということで、イベントとして楽しく開催できればいいかなと考えております。

(株式会社関越サービス)

提案書の83ページのところに記載させていただいているものになります。

(司 会)

ほかにございませんでしょうか。

(椎谷委員)

一つプールの施設がなくなったということで、夏休みですとか、子供たちが大量に今まで以上に来館されると思うのです。やはり先ほどからも言われておりますけれども、安全管理というところの部分がすごく大事なことだと思いますので、プールの監視ですとか、そういったことももちろんなのですけれども、子供たちがどういう行動するかも分かりませんので、やはり館内での事故防止ですとか、そういったところにも目を向けていただくということが大事かと思っております。衛生面でも気になるのが、アヒルアクアなのですけれども、このアヒルアクアというのは、アヒルをプールの中に入れるわけですよね。今、問題になっているのが、アヒルの衛生管理というところなのですけれども、すべて水を抜くとか、そういったところのことはするのであれば、すごく大量に入れるのであれば時間がかかると思うのです。お休みが月1回に変わってきているということで、例えば、毎週であれば、お掃除でどこかの業者が入ることができたかと思うのですが、その点は大丈夫なんでしょうか。

(株式会社関越サービス)

まず、アヒルなのですけれども、テレビの「ザ!世界仰天ニュース」で、アヒルの穴から水が入って、その中で菌が繁殖するということが問題になりまして、それに対応しまして、今、穴のあいていないアヒルを作成して、今、花の湯館で使っているのです。水が入らないように穴をなくして、中国に委託して作ってもらいました。それであれば、衛生面については外側を洗うだけで、中には水が入らないで菌が繁殖しないというアヒルでやりたいと考えております。

(椎谷委員)

カビとか大丈夫なのですか。

(株式会社関越サービス)

カビも、やはりどうしても使っているうちにカビてきますので、カビたら全部排除するようにはしております。

(椎谷委員)

それはやはり人員が必要になってきますよね。

(株式会社関越サービス)

そうですね。それはやはり管理が 1,000 個、2,000 個になっているものは、一個一個水を流したりとか、拭いたりの手間は必要になりますけれども。

(椎谷委員)

では、また人員とか、そういったところの部分でもご検討を色々していただければと思います。

(篠田委員)

同じように、もう対策はしてらっしゃるかもしれないのですが、よもぎアレルギーというのがありますよね。これはやはりいらっしゃると思うので、そういう方への周知とか、その辺のことはどうなのでしょう。

(株式会社関越サービス)

よもぎ蒸しに関しては、もちろん専任のサロンスタッフが行うものになりますので、施術の前には、必ずカウンセリングでアレルギーに関してはチェックシートですべてチェックしてから施術に入るような形になりますので、その辺はアレルギー等ある方は、されないという形で、カウンセリングの時点でお話しさせていただくつもりで考えております。

(篠田委員)

その施術というのは、閉じられた空間でやっているのですか。

(株式会社関越サービス)

そうですね。今、2階の仮眠室を改装の予定で個室にして考えております。

(篠田委員)

そこでやるということで、完璧に漏れないようにすればいいと思うのですが、懸念されるのはそこが漏れてしまったということがありますので、そこは徹底的にやっていただければ。

(株式会社関越サービス)

はい。

(松原委員)

一番驚いたのは、1,500 万円で改装するという事ですね。それは本当にできるのですか。

(株式会社関越サービス)

できます。大体の試算も行っております。

(松原委員)

こんなになつたらすごくいいと思うのです。とてもいいと思うのですけれども、本当にできるのかなと思ったのですが。

(株式会社関越サービス)

今、改装して、リニューアルして、新しくオープンするというのは、秋葉区の花の湯館でも、三条市のさぎの湯でも、実際にやって成功しているものですので、同じような形で1,500万円の予算を有効に使って、改装してリニューアルしてやっていきたいと考えております。

(松原委員)

図書館やいろいろなものができてすごくいいとは思いますが、それが本当にできればいいことなので。

(株式会社関越サービス)

それはきちんとできるような計算というか、収支になっております。

(松原委員)

楽しいと思います。

(株式会社関越サービス)

ありがとうございます。

(司 会)

ほかにございませんでしょうか。

(篠田委員)

綿密な計画を立てていらっしゃるのですけれども、これはもしかしたら試算済みかもしれないのですが、消費税10パーセントになったらばたとオセロみたいになってしまうので、随分反映されて、その辺のことは織り込み済みでやり始めていらっしゃいますか。

(株式会社関越サービス)

今回の収支計画については、消費税10パーセントについては、8パーセントで5年分、試算するよという仕様でしたので、8パーセントで全部計画を立てているのですけれども、当然、消費税10パーセントになった段階で消費が落ち込むということは十分に考えております。ただ、650円という入館料は湯ったり苑であるとか、ほかの施設と比べて決して高い金額ではない。そこに持ってきて、ほかは湯ったり苑の榎尾店が近いので一番の競合になると思っているのですけれども、湯ったり苑はお風呂と休憩所しかない。こちらのアクアパークの場合は、お風呂があって、プールがあって、さらに湯ったり苑はサウナもありますけれども、そしてそこに改装した、公園のような本がいっぱいある広場があって、1階にもあって、いろいろなものがあるので、十分に湯ったり苑にも対抗しているだけの魅力を作っていくと。消費税が10パーセントになったとしても、周りの近隣施設にお客さんを奪われないで集

客できるという考えの改装リニューアルを行いたいと思っております。

(司 会)

よろしいでしょうか。質疑は終了とさせていただきます。

それでは、申請者の方、本日はこれで終了です。お疲れさまでした。結果につきましては、決まり次第、ご連絡させていただきます。

次の団体の準備を行います。10分ほど休憩をいたします。3時5分から再開いたします。よろしく願いいたします。

(休 憩)

(司 会)

再開します。

3団体目、福田道路・オーエンスグループです。

プレゼンテーションの時間は20分です。15分経過しましたらチャイムを1回鳴らします。20分に達したところでチャイムを2回鳴らしますので終了してください。

それでは、お願いいたします。

(福田道路・オーエンスグループ)

～プレゼンテーション～

(司 会)

ありがとうございました。

それでは、質疑応答に入ります。質問、回答とも簡潔におおむね1分以内でお願いします。委員の皆様、いかがでしょうか。

(篠田委員)

一つは、食育プログラムというところなのですが、食育プログラムは具体的に言うと、健康日本21の第2次が出て、それに基づいて健康にいがた21が出て、それも第2次が出て、そして新潟市の健康づくり推進委員会から提案されているものがあるのですが、その辺とのかねあいというのは、もちろん管理栄養士が入っていらっしゃるからご存じとは思いますが、今、新潟市で展開している食育関係の運動と連動してくるわけですので、具体的に。

(福田道路・オーエンスグループ)

基本的には、当社の社員である管理栄養士がこれをプログラムするのですが、当然、食育プランを参考にしながら、そこで実施するという方向で考えています。

(篠田委員)

例えば、ここに同じようなスローガンをぼんと出すとか、そういうものは。

(福田道路・オーエンスグループ)

特にそこは考えていませんが、同じような内容のことをやっていきたいと考えております。

(篠田委員)

今やっているものはご存じですか。新潟市でやっている。

(福田道路・オーエンスグループ)

できれば近いものにしたいと思っています。

(篠田委員)

ちょいしおとというのです。塩分控えめというものです。

もう一つは、冬のときに重機とオペレーターを常駐させると書いてあったのですけれども、これは人を配置するということですか。

(福田道路・オーエンスグループ)

人も配置します。

(篠田委員)

泊ませるということですか。

(福田道路・オーエンスグループ)

はい。福田道路がいますので、当然それはできる可能なことでございます。

(篠田委員)

いないとだめですよ。分かりました。

(福田道路・オーエンスグループ)

重機だけあってもいないとだめなので。

(篠田委員)

そうですよね、そこに来るまでも。ありがとうございました。

(椎谷委員)

アンケートを取られているということだったのですけれども、アンケートの中で、一番多い要望というのは、こういった内容なのかということと、多分、その要望に今回はこたえるといえますか、そういった改善の部分ですとか、今回からこのようにしていこうとかというようなことも入っているかと思うのですけれども、お伺いしたいのは、まずはどんな課題があって、どのようにそれを今回は入れ込んでいるのかなということと、いろいろなアンケートに答えしている中で、例えばトイレを替えるとかさまざまにされていますけれども、この予算の中で収支計画書の中の修繕費になるのでしょうか。そういったところから予算を出し

て、けっこう大がかりだと思えるのです、トイレを直すとかというところ。そしてもう一つ、予算の中で消耗品費というのが毎年変わらないのですけれども、多分、メイワサンピアでしたでしょうかね、あのプールがなくなって、多分、多くの方々が夏などに流れてこられると思うのですけれども、トイレットペーパーなど消耗品というのは増えていくと思うのですけれども、そういったところはこの金額で大丈夫なのかが気になりました。

最後に、子育て世代の方に来てもらいたいというようなお話とパンフレットの中にも家族みんなですしょうか。家族みんなだと書かれているということは、ファミリー層も考えていらっしゃるかと思うのです。そうなったときに、パンフレットを見ますと、このキッズルームが非常におもちゃもなく、ぬいぐるみが置いてあるようなパンフレットの写真が、なかなか遊びがそう多く滞在できるような内容のものが置かれていないので、もう少しおもちゃに関して増やしてもいいのかと。子供たちが、赤ちゃんが過ごせて、そしてお父さんと子供がプールに行くとかというようなところの部分も考えていかれたほうがいいのかと感じました。

(福田道路・オーエンスグループ)

ありがとうございます。まず、最初にアンケートで一番多くの要望は、繁忙期7月、8月に非常に大勢の特に子供連れのお客様が利用されます。プールから上がって、更衣室のロッカーに行き、水着を脱いで、タオルを持ってお風呂場に向かわれるわけですが、その際に、水着を脱ぐ際などで、床に水がしたり落ちてしまう。更衣室の床の水濡れが一番苦情として多く上がってきております。そこを改善してほしいという要望がございまして、今年の夏から、ロッカーとロッカーの間の通路に足ふきマットを敷く。それから、プールから上がってお風呂の入口の動線まで足ふきマットを敷くという対策を実行してございまして、前年度よりは改善されたものと思っております。さらにまた来年度同じこと、そしてタオルの交換の頻度なども気をつけて行っていきたいと考えております。

消耗品の内訳としては、主にプールの塩素剤とか、試薬とか、そういった薬剤関係が多くを占めてございまして、メイワサンピアの閉館による影響がどの程度あるのかということが、まだ未知数ですので、とりあえずは今まで運営してきた実績をふまえた数値としております。もし、メイワサンピアの影響により入館者が増えるということであれば、入館料収入も上がるわけですから、その分、消耗品に回すものができるものと考えております。

もう一点お尋ねの洗浄便座などといった費用のかさむ修繕に関しましては、新潟市との協定で修繕費500万円までが指定管理者負担、500万円を超えた部分は新潟市負担という協定がございまして、通常、毎年、施設も経年劣化してございまして、500万円より下回るということはほとんどございませぬので、毎年、500万円を超えてございまして、そういった修

繕も、備品の更新も修繕費の中で十分行えております。

(福田道路・オーエンスグループ)

よろしいですか。

(椎谷委員)

ぜひおもちゃもどこかで買っていただくことと。

(福田道路・オーエンスグループ)

その写真を撮ったとき、少し時代が古くて、最近はブロックやパズルなど増やしております。

(椎谷委員)

ありがとうございます。なぜ聞いたかと言いますと、いろいろとイベントが書かれていたときに、新規と書かれているのがあまりそう多くなかったので、あまりイベントに関してのご要望というのはそう多くないのかと思ひましてお伺いしました。ありがとうございました。

(本間委員)

私は5点、お尋ねしたいと思うのですけれども、一つ目が、過去けっこう赤字が続いていたかと思うのですけれども、価格据置で今後、やっていける見込みという、その根拠をお尋ねしたい。

二つ目が、先ほど、除雪のための機械、人を常駐させるということでしたけれども、そのコストをどの科目でどの程度見込まれているか、教えていただきたいのです。

三つ目としまして、飲食の原価率なのですけれども、これは同業他社はどんなものなのか、ご存じでしたら教えていただきたい。

四つ目としまして、21時以降の利用者が少ないというお話もお聞きしたのですけれども、例えば、閉館時間を繰り上げるとかというお考えはないでしょうか。

最後に興味本位で申し訳ないのですけれども、1社ではなくて2社で指定管理者になる必要性というか、意義というか、その辺をお聞きしたいと思います。

(福田道路・オーエンスグループ)

まず500円で赤字、当初を1期目の最初の年、特に設備投資、部屋の改造とか、休憩室をスタジオに改造した。その分、休憩室を別に部屋に作ったりとか、そういった設備投資がかさみまして、初年度、特に赤字になりました。しかしながら、私どもの入館料500円かというコンセプトが、家族で利用しやすいというコンセプトをお客様が受け入れてくださりまして、家族利用が非常に増えました。なので前指定管理者時代、入館者が22万人くらいだったわけですけれども、そのことにより26万人くらいまで、3万から4万くらい利用者が増えたということで、お客様が安い料金で多数利用してくださる。そのところが公共施設の広く大

勢の人に使っていただけるという姿が、公共施設の姿ではないかと思っております。多数来てくださることにより、そのほかの売店の売り上げ、自販機の売り上げ、飲食収入が増えることにより、黒字化することができております。

除雪に関しましては、職員が福田道路の副センター長がこの秋に技能講習、資格を取得しまして、兼務をする形で考えております。そのほか応援を福田道路本社に要請する予定になっております。ですので、費用のほうは。

(福田道路・オーエンスグループ)

108万円が雑費の中に除雪機の損料というものが計上されています。108万円です。

(福田道路・オーエンスグループ)

そのほかは人件費に含まれています。

(福田道路・オーエンスグループ)

飲食の原価率については、約40パーセントほどかかっております。これは普通の事業者と比べるとやや高めです。ただ、それは提供する単価が非常に安く抑えられているので、必然的に原価が上がっているという状況でございます。

閉館時間の変更については。

(福田道路・オーエンスグループ)

確かに9時以降の利用者は少ないのですけれども、会社帰りに利用される方がございまして、10時まで営業してもらって助かっているという声を伺っていますので、少ないのですけれども、10時まで利用者の便宜を図る、サービスを向上させるという意味合いで続けております。今のところ変更する予定はございません。

(福田道路・オーエンスグループ)

最後に2社でやる必要ということでございましたけれども、私どももすでに10年以上もこのコンソーシアムで実施をしてきております。それについては、何の不都合もございませんので、今後も同じスキームで続けていきたいと考えております。

(司 会)

ほかにございませんでしょうか。

(松原委員)

私が印象に残ったのは、高齢者や、いわゆる障がい者に対してのやさしさがあるかと思いました。

(福田道路・オーエンスグループ)

ありがとうございます。

(松原委員)

よかったですと思います。それから、ここは西区で、新潟大学や情報大学などありますよね。学生をコラボできないかということが一番考えております。

(福田道路・オーエンスグループ)

健康相談会といったところで先生にお願いしたり、その助手として学生にお越しいただいたり、あるいはイベントとしてこれからですけれども、新潟大学の落語研究会などに当たってみたいと思ったりしております。また、10月に開催されます新潟大学の学園祭のプログラムに依頼を受けまして、協賛広告を掲載させていただいております。

(篠田委員)

これはどちらかというようお願いなのですがすけれども、今はないと思うのですがすけれども、芝生広場の活用と書いてあるのでお願いするのですがすけれども、昔、利用したときに、あそこからはちが出てきたことがあるのです。館内に入ってしまったことがあって、施設内だけではなくて、周りの環境整備もぜひお願いしたいと。

(福田道路・オーエンスグループ)

一応、秋にはち避けの薬の散布などを行って、防ぐ努力はしています。

(篠田委員)

プールのところから外に出られるようになっていましたよね。あれをやっていたらちが入ってきて、閉めようと思ったら入ってきてしまったということがあったかと思うので、やはり場合によっては、はちでアナフィラキシーも起こりかねないので、ぜひそういうところはしっかりと。

(福田道路・オーエンスグループ)

分かりました。十分気をつけます。

(司 会)

ほかにございませんでしょうか。もう少しお時間ございますか。

(椎谷委員)

子供入館無料券というのはすごくいいと思うのです。先ほど言われたように、公共施設だからこそ金額も上げないとか、公共施設というところの部分で、そういったことで実はすごく大事なことだと思うのです。どんどん消費税が上がって、お金もいろいろなところがかかって、それでもレジャーを楽しもうとしている人たちがどう満足するかというところで、このお金を払ったから、この払った分、長くいようとか、楽しもうという人たちがたくさん来られると思いますので、アンケートを書きやすい状況にしておくとか、もっとこうしたら私たちは楽しめますというふうなことを願いを叶えていくといいますか、特にママたちも非常に疲れておりますので、そういったところで配慮していただくような方向でいっていた

だけるといいかとは思いますが。

(福田道路・オーエンスグループ)

分かりました。そのようにいたします。

(司 会)

ほかにご質問ございませんでしょうか。

(篠田委員)

一つだけ、リサイクルのことをずっとやっていらっしゃるので、そのことに関する提案もものすごくたくさん込められていらっしゃるのです。さらに何かもう少し消費税も上がってしまうので、そうするとその辺のリサイクルとか、節約とか、生活のしかたをリサイクルを通して生活パターンをもっと健全な消費ばかりではなくてというところにつなげられるような新たな提案もしていただいて。

(福田道路・オーエンスグループ)

今、おもちゃ病院、民間のボランティア団体の人に月1回ほど来ていただきまして、壊れたおもちゃを実費で、200円とか、部品代だけなのですけれども、もう一度、また使えるようにというようなイベントも毎月、実施しております。

(篠田委員)

ぜひそのようにどんどんやっていただければと思います。

(司 会)

ほかにごございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

では、質疑は終了とさせていただきます。

申請者の方、本日はこれで終了です。お疲れさまでした。結果につきましては、決まり次第、ご連絡させていただきます。

この後は、非公開となりますので、申請者、傍聴者の皆様は、ここで退席をお願いいたします。お配りしましたプレゼンテーション資料は3種類ございましたが、こちらは受付でお返してください。よろしく申し上げます。皆様、お疲れさまでした。

それでは、採点を20分間をお願いしたいと思いますので、4時5分までお願いいたします。4時5分になりましたら、事務局が回収させていただきますので、お願いいたします。

～評価結果の提出・集計～

～講評・評価理由について～

(司 会)

それでは、本日、長時間にわたりありがとうございました。評価結果を参考に、市として候補者を決定し、申請者に対して結果を通知いたします。またあわせて皆様にも結果についてご報告させていただきます。

第1回、第2回とお忙しいのにもかかわらず、長時間にわたりご参加いただきまして、大変感謝しております。今後も、当施設の指定管理についてご指導くださいますよう、よろしく願いいたします。

これもちまして、本日の会議は終了いたします。お疲れさまでした。